

特別支援学級国語科学習指導案

知的障害特別支援学級（はばたき学級）

3人（3年男子1人，5年女子1人，6年男子1人）

指導者 河野由美子

1 題 材 名 3年，5年「くわしくかこう」，6年「分かりやすく書こう」

2 題材について

(1) 題材の価値

(A児3年)

A児は，日記を書く際，「今日は，〇〇をしました。楽しかったです。」と，いつも同じパターンで2文程度でなら書くことができる。自分がしたことについて詳しく話すことはできるものの，そのことを書くまでには至っていない。これは，どんなことを書けばよいか分からなかったり，思い出して書くことが難しかったりするためであると考える。

そこで，本題材では，絵やVTRを見て，していることや分かることをたくさん書くことができるようにする。そして，実際に体験したことを写真で見て，したことを3文程度で書くことができるようにする。

指導に当たっては，まずビデオレターを見ることで，書いた文を聞かせたい相手を意識し意欲的に取り組むことができるようにする。絵を見ることで，どんなことをしているか分かることを友達や教師にたくさん話すようにする。そして，絵やVTRを見て，それを文で書いていく。それから，写真を見て自分の生活を振り返ることができるようにし，友達や教師から質問されたことや思い出したことを書いて詳しい文に表すことができるようにする。また，書いた内容を発表する場を設けるようにする。

このような学習を通して，文を書く楽しさを味わうと共に，今後日記などを書くときに，したことをもっと詳しく書き，豊かな文章を書くことができるようになっていくものと考える。

(B児5年)

B児は，日記や作文を書く際，簡単な絵を書いてから，したことや楽しかったことを2文程度で書くことができる。しかし，したことに対して，どう思ったかまでうまく書くことができずに終わってしまうことが多い。

そこで，本題材では，絵やVTRを見て表情にも気を付けながら，していることだけでなく思っていることも書くことができるようにする。そして，実際に体験したことを写真で見て，思ったことを入れながら4，5文程度で書くことができるようにする。

指導に当たっては，まずビデオレターを見ることで，書いた文を聞かせたい相手を意識し意欲的に取り組むことができるようにする。絵を見ることで，顔の表情等にも気を付けて，していることや思っていることを友達や教師にたくさん話すようにする。そして，絵やVTRを見て，それを文で書いていく。それから，写真を見て自分が体験したことを振り返ることができるようにし，友達や教師から質問されたことや，思い出したこと，思ったことを入れながら詳しい文に表すことができるようにする。また，書いた内容を発表する場を設けるようにする。

このような学習を通して，文を書く楽しさを味わうと共に，今後日記や作文などを書くときに，したことだけでなく思ったことを入れながら書き，豊かな文章を書くことができるようになっていくものと考える。

(C児6年)

C児は，日記や作文を書く際，自分で書きたいことを決めて書くことができるようにはなっている。しかし，読む相手のことを考えずに，ただ書きたいことを書き並べることが多い。また，接続語が抜けたり，適切でない接続語を使ったりして書いてしまうこともある。

そこで，本題材では，読む相手のことを考えて丁寧に書きながら，接続語を使って分かりやすく書くことができるようにする。

指導に当たっては，まず，接続語について学習し，接続語の使い方を理解できるようにする。そして，ビデオレターを見ることで，これからの学習を知り，学習で作ったものを紹介する相手を意識したり，興味のある歴史を取り上げたりすることで意欲的に取り組むことができるようにする。キーワードカードと接続語カードを準備して書いていくようにし，少しずつカードを減らしたり，自分で付け加えたりしながら，まとまりのある分かりやすい文章を書くことができるようにする。そして，C児が大好きなクイズを作って出す楽しい活動を取り入れ，最後まで活動が意欲的に行えるようにする。

このような学習を通して，今後日記や作文を書くときに，接続語を使って分かりやすく書くことができるようになると共に，分かりやすく文章を書くことが他者を意識し，コミュニケーションがうまく図れることにもつながっていくものと考える。

(2) 題材の目標

ア 全体目標

- 体験したことや書きたいことを相手に伝わるように書くことができる。

イ 個人目標

A児3年	B児5年	C児6年
○ 絵やVTRを見て、分かることやしたことを書くことができる。 ○ 写真を見て、体験したことを3文程度で書くことができる。	○ 絵やVTRを見て、思っていることを入れて書くことができる。 ○ 写真を見て、思ったことを入れながら4, 5文程度で書くことができる。	○ 書きたいことを接続語を使って分かりやすい文章で書くことができる。 ○ 歴史ブックの中から簡単なクイズを作って出すことができる。

(3) 子どもの実態

	A児3年	B児5年	C児6年
個別の指導計画	- 身近な出来事を話したり短い文で書いたりすることができる。 - 短い文をすらすら音読することができる。 - 文字を正しく書くことができる。	- 身近な出来事や行事等の思ひ出を話したり書いたりすることができる。 - 短い文をすらすら音読することができる。 - 書くことができる漢字を使うことができる。	- 自分が知っていることや経験したことを分かりやすく話したり書いたりすることができる。 - 相手に聞こえる声で音読することができる。 - 文字を丁寧に書くことができる。
関・意・態	絵本を好んで読んでいる。漢字の習得は難しいが、なぞり書きや見本を見て書く字はとても丁寧である。短い文の音読は得意である。	わらべ歌やリズム感のあるものを好んで読んでいる。2, 3文ならどんな内容か読み取ることができる。	歴史に関する本やクイズの本を好んで読んでいる。3年生程度の文なら、どんな内容か読み取ることができるが、書き取り間違いが多い。
聞く・話す	絵本の読み聞かせをすると、聞きながら笑うなどして楽しんで聞いているが、読み終わった後に内容について、質問しても答えられないことが多い。	絵本の読み聞かせをすると、集中して聞いており、読み終わった後に面白かったことを話したり、内容について、簡単な質問に答えたりすることができる。	絵本の読み聞かせをすると、思ったことを口にしながら聞いている。言葉の数も豊富で言いたいことを言うことができるが、時々つじつまが合わないことがある。
読む	絵本を好んで読んでいるが多くなる。漢字が読めずに読み進めなくなることが多い。短い文でも区切る場所を間違えることがあるが、大きな声で最後まで読むことができる。	読みたいものも漢字が読めずに読み進めなくなることが多い。長い文だと区切る場所を間違えることがある。会話文は、その人物になりきって読むことができる。	物語など、好んで読むことはほとんどないが、1ページにまとめられた文は長くても読もうとする。じっくり読まずに小さな声で早口で読む傾向がある。
書く	「今日、〇〇をしました。楽しかったです。」と2文の程度の文章は書くことができる。片仮名は覚えても忘れている文字がある。1年生の漢字なら40字程度書くことができる。	言葉掛けすると、書きたいことを2文程度で書くことができる。「わたしは」の「は」の表記間違いをすることがある。2年生程度の漢字でも読むことはできても書くことができない漢字が多い。	書きたいことを書くことができるが、文の内容が繋がらないことがある。当該学年で習う漢字も進んで学習し、覚えている漢字もあるが、3年生程度の漢字でも間違えることがある。
認知の特性	視覚的な情報や指示が理解しやすい。言葉掛けは、分かりやすい簡単な言葉で行う必要があり、忘れやすいので確認が必要である。	言語的な情報や指示が理解しやすく判断することが得意である。言葉掛けは一動作一文で行うと共に、確認が必要である。	言語的な情報や指示が理解しやすい。見たり聞いたりした内容をまとめることが難しいが、やり方が分かると進めることができる。

3 指導に当たって

本題材の指導に当たっては、子どもが「学び」をつなぎ、「学び」を生かし、達成感を味わうことができるように、以下の点に留意して指導をしていく。

○ 研究内容1 子どもが他者を意識し、「学び」をつなぎやすい状況づくり

- ・ 前時の学習を振り返る際に、今までに書いた文を提示することで、どう書けばよいか気付くことができるようにする。
- ・ 友達と話したり、友達から尋ねられたりすることで書くことが浮かび、詳しく書くことができるようにする。
- ・ 互いに発表し合う活動を設けることで、友達の頑張りや作品のよいところに気付くようにすると共に、伝え合うことができるようにする。

○ 研究内容2 子どもが自己の「学び」を生かしやすい状況づくり

- ・ 交流学級や家庭において、自分が書いた文や歴史人物ブックを見てもらい称賛されることで、達成感を味わうことができるようにする。

4 指導計画（全12時間）

過程	時間	指導のねらいと主な学習活動		
		A児3年	B児5年	C児6年
一次	1	「絵を見て話そう」 【指導のねらい】 絵を見て、していることや分かることを話すことができる。 【活動内容】 1 絵を見て話す。 2 教師の質問に答える。	絵を見て、していることや分かることだけでなく、表情にも気を付けて思ったことを話すことができる。	2 「接続語の意味と使い方」 【指導のねらい】 接続語の意味が分かり、使い方が分かる。 【活動内容】 1 文を読み、当てはまる接続語を入れる。 2 接続語を使って、文を作る。
二次	5	「文を書こう」 【指導のねらい】 絵やVTRを見て、していることや分かることを書くことができる。 【活動内容】 1 絵やVTRを見て、どんな絵か話す。 2 文を書く。 3 書いた文を読み直す。 4 書いた文を発表する。	絵やVTRを見て、していることや分かることだけでなく、思ったことも書くことができる。	7 (本時3/7) 「歴史人物ブックを作ろう」 【指導のねらい】 歴史上の人物や出来事について、キーワードや接続語を使って分かりやすく書くことができる。 【活動内容】 1 書きたいことを決め、接続語にも気を付けながら分かりやすい文で書く。 2 書いた文を読み直す。 3 書いた文を発表する。
三次	5 (本時3/5)	「自分のことを思い出して書こう」 【指導のねらい】 身近な出来事の写真を見て、体験したことを書くことができる。 【活動内容】 1 写真を見て、互いに知りたいことを聞いたり、詳しく話したりする。 2 文を書く。 3 書いた文を読み直す。 4 書いた文を発表する。	身近な出来事の写真を見て、体験したことに思ったことを入れて書くことができる。	2 「歴史人物クイズを作ろう」 【指導のねらい】 自分が作った歴史人物ブックの中から、人物を当てる程度の簡単なクイズを作ることができる。 【活動内容】 1 簡単なクイズを作る。 2 クイズを出す。
四次	1	「できたことを発表しよう」 【指導のねらい】 これまでの活動を振り返り、頑張ったことを発表することができる。 【活動内容】 1 自分が書いた文や歴史人物ブックを紹介する。 2 写真やVTRを見て、これまでの活動を振り返る。 3 自分が頑張ったことや友達のよいところを発表する。		

5 本 時 A児・B児 (9 / 12), C児 (5 / 12)
(1) 目 標 (個人目標)

個人 目標	A児3年	○ 写真を見て, 経験したことを3文程度で書くことができる。
	B児5年	○ 写真を見て, 経験したことを入れて5文程度で書くことができる。
	C児6年	○ 書きたいことを, キーワードカードや接続語カードを使いながら分かりやすい文で書くことができる。

☆はICT機器活用上の留意点

(2) 展 開

過程 (分)	主 な 学 習 活 動	子どもに応じた具体的な指導		
		A児3年	B児5年	C児6年
つかむ・みとおす (10)	1 前時までの学習を振り返る。 2 学習計画を確認する。 3 本時のめあてを確認する。 エリック・カールさんの言ったことを守って書いてみよう。 (1) めあてを読む。			- 学習計画を見ようにして, 本単元の全体の流れや, これまで学習してきたことを確認し, 本時で学習することが分かるようにする。 - 前時でできたことを確認し, 自信をもって本時に取り組むことができるようにする。 ☆ VTRを見ようとして自分のめあてが分かり, 意欲的に取り組むことができるようにする。 - 個人のめあてを, 分かりやすいように掲示する。 3つの文のお話たしごんブックを作ろう。 5つの文のお話たしごんブックを作ろう。 3人の歴史人物ブックを作ろう。
	4 学習の進め方について確認する。 5 文を書く。 (A児3年) (B児5年) (C児6年) (1) 写真を見て, 知りた いことを尋ねたり, 友 達の質問に答えたりす る。 (2) 文を書く。 (3) 読み直す。 (4) 間違いがあったら書 き直す。	- 視覚的に分かりやすくして, 自分でも活動が進められるようにする。 - 互いの写真を見て友達とたくさん話すことで, したことや思ったことを思い出すことができるようにする。 - ヒントカードを見ながら書くことができるようにする。 - 用紙はマス目にするこ とで書きやすく丁寧に書 けるようにする。 - 片仮名表を準備すること で, 忘れていた文字を正し く書くことができるよう にする。	- 用紙はマス目にするこ とで丁寧に書くことができ るようにする。 - 漢字表を準備すること で書くことができる漢字は 使っていくことができるよ うにする。	- キーワードカードや接続 語カードを使うことで, 分 かりやすく書くことができ るようにする。 - 接続語や歴史のヒントに なるようなものを準備する ことで, 自分で進めること ができるようにする。 - 短冊に書いた後, 行形式 のワークシートに書くこと にすること, 見る人に分か りやすく丁寧に書くこと ができるようにする。
かっどうする (30)	6 書いたものを紹介する。	- 書いた文を声に出して読むことで, 書き間違いがないか確認できるようにする。 ☆ 書画力メラで映すことによっ て, 友達が書いたものを見 ることができるようになる。	5文書くことができたか 確認し, できたことを称賛 することで自信をもつこと ができるようにする。	カードを使って分かりや く書くことができたか確 認し, できたことを称賛す ることで自信をもつこと ができるようにする。
	7 本時の学習を振り返る。 8 次の学習について知る。			- 感想の発表では, 自分のめあてを見てできたことを具体的に発表できるようにし, 称賛することによって自分のできたことや友達の頑張りが分かるようにする。 - 学習計画を見ようにして, 次の時間に学習することが分かるようにする。